はままつクリエイティブスイッチ　開催レポート
「タブレットでオリジナルイラストを描こう！」

開催日：2026 年 9 月 19 日（土）
会場：クリエート浜松　21 講座室
講師：りっとさん（イラストレーター）

タブレットを使ってオリジナルのキャラクターを描くワークショップを開催しました。講師は、浜松市を拠点に活動するイラストレーターのりっとさん。ゲームや VTuber のミニキャラクターなど、さまざまなイラストを手掛けています。今回は、お絵描きアプリ「アイビスペイント」を使い、頭２個分の高さで描く「２頭身」のミニキャラクター制作に取り組みました。

■まずは、アプリの使い方から

キャンバスの開き方から、ブラシ、消しゴム、線の太さ、色を選ぶカラーパレットや線を整えやすいブラシを紹介までアプリの基本操作の確認をしました。今回の制作は、ブラシ・消しゴム・太さ・色の４つを使えれば進められることを説明し、必要な操作を順に伝えました。



■かわいいミニキャラの土台を描こう

まず、体のバランスを決める下書きから始めました。頭と体の大きさ、腰や手の位置、腕や足を曲げる際の関節の位置などを、一緒に描きながら確認。顔には十字の目安線を入れ、目の位置を中央より少し下げる描き方も紹介し、描く前の土台をどう作るかを学ぶ時間となりました。
今回は、頭は丸、胴体は四角という簡単な形で下書きをしました。



■「好きなもの」をキャラクターの特徴に

続いて、キャラクターの性格や特徴、メインカラーなどを考える時間が設けられました。りっとさんは、好きな食べ物や趣味をデザインに取り入れる例を紹介。バナナが好きなら黄色をメインカラーにしたり、バナナの髪飾りをつけたりするなど、身近な「好きなもの」からキャラクターの特徴を考え、自分だけのキャラクターデザインを進めました。



■デジタルならではの機能を使って清書

アプリの機能を使用し、下書きの上に清書用の「レイヤー」を重ね、線を描き清書をしました。さらに、片側を描くと反対側にも同じ線が描かれる「対称定規」や「塗りつぶし」の機能を使用し、デジタルイラストならではの方法で、清書を進めていきました。







■仕上げと保存、そしてこれからの制作へ

終盤には、目に白い光を入れたり、髪にハイライトを加えたりする仕上げの方法を紹介。画像を保存する操作まで確かめ、描いたキャラクターを SNS のアイコンやスマートフォンの壁紙などに使うことを提案しました。参加者の作品を見たりっとさんからは、それぞれ個性のあるキャラクターに仕上がっていると、評価の言葉が掛けられました。

■自分のキャラクターを描くための基本を振り返って

ワークショップの締めくくりには、2 頭身の体のバランスや、腰・手・関節の位置を改めて確認しました。描いてみて違和感があるとき、頭と体の割合や関節の位置を確かめることで、次の制作にも応用できます。体のバランスは、後で自分の絵を見直すときにも使える目安として伝えられました。
アプリの基本操作から、下書き、キャラクター設定、清書、色塗り、保存までを実践し、今後自分でキャラクターを描く際に応用できる体験となりました。

